

In-Sight® ディスプレイコントロール 5.6.0 リリースノート

© Copyright 1999-2018 Cognex Corporation. All rights reserved.

Revision: 5.6.0.6, 05/25/2018

概要

本書は、Microsoft® Windows® 用の In-Sight ディスプレイコントロールについて説明します。本書は次のトピックから構成されます。

- [In-Sight ディスプレイコントロールについて](#)
- [システム要件](#)
- [インストール](#)
- [サンプルプロジェクト](#)
- [API の変更点](#)
- [既知の問題](#)

In-Sight ディスプレイコントロールについて

In-Sight ディスプレイコントロール (CvsInSightDisplay) は、In-Sight Explorer の中核となるもので、In-Sight ビジョンシステムに接続して、画像、グラフィックスおよびスプレッドシートのデータを表示することができます。このコントロールは、Microsoft Visual C# .NET または VB .NET Windows Forms アプリケーションに挿入可能な .NET コントロール、および Visual Basic 6.0 または HMI/SCADA 環境に統合可能な ActiveX コンポーネントの両方で構成されています。

注:

- In-Sight ディスプレイコントロールのほとんどの機能は、.NET と COM/ActiveX のどちらのアプリケーションでも利用できますが、.NETでのみ、あるいは COM/ActiveX を使用していない場合にのみ利用可能な機能もあります。.NET 環境と COM/ActiveX 環境の違いの詳細については、In-Sight ディスプレイコントロールヘルプファイルを参照してください。
- In-Sight ディスプレイコントロールは、In-Sight Micro 1020、In-Sight 2000 シリーズおよび In-Sight 7020、7010、7230、7430 および 7432 ではサポートされていません。

最新のリリースノートやドキュメンテーション (各国語版も含む) は、[In-Sight オンラインサポートセンター](#)でダウンロードできます。

システム要件

PC ハードウェア要件

最小要件

注: ハードウェアの最小要件とは、In-Sight の処理負荷が低い環境で、解像度の低い In-Sight ビジョンシステムを 1 台だけ接続している PC を指します。

- 1.8GHz 動作の Intel® Celeron® 1000M プロセッサ (または同等品)
- 2GB の RAM 空き容量
- 4GB のハードディスク空き容量
- 24 ビットカラーで解像度 1024×768 の表示が可能なビデオカード。画面の DPI 設定は 96 DPI に設定します。
- In-Sight ビジョンシステムに接続するためのイーサネットネットワークインタフェースカード (100Mbps 以上)

推奨要件

注: 推奨されるハードウェア要件とは、同時に 4 台までの In-Sight ビジョンシステムを接続している PC を指します。

- 2.7GHz 動作の Intel® Core™ i7 プロセッサ (または同等品)
- 4GB の RAM 空き容量
- 8GB のハードディスク空き容量
- 32 ビットカラーで解像度 1920×1080 の表示が可能なビデオカード。画面の DPI 設定は 96 DPI に設定します。
- In-Sight ビジョンシステムに接続するためのギガビット・イーサネットネットワークインタフェースカード

オペレーティングシステム要件

In-Sight ソフトウェアは、次のオペレーティングシステムで動作することを確認しています。

- Microsoft® Windows® 10 Professional (64 ビット)
- Microsoft Windows 7 Professional、サービスパック 1 (64 ビット)
- Microsoft Windows Server 2016

In-Sight ディスプレイコントロールはそのほかのオペレーティングシステムでも動作することがありますが、前述の要件を満たさないシステムはサポート対象外です。

言語サポート

- 英語
- 日本語
- フランス語
- ドイツ語
- スペイン語 (ヨーロッパ系)
- 韓国語
- 中国語 (簡体字)

サポートしている In-Sight ビジョンシステム

サポートしているファームウェアバージョン

In-Sight Explorer 5.6.0 には、次のファームウェアバージョンが含まれています。

- In-Sight 5.6.0
- In-Sight 5.2.2
- In-Sight 4.10.5

以前のファームウェアを搭載している In-Sight ビジョンシステムは正常に操作することもあります。サポートされていない機能があり、また十分にテストが行われていません。最適なパフォーマンスを得るには、In-Sight Explorer ソフトウェアおよびファームウェアは、最新バージョンを使用してください。

注: モデル一覧およびサポートされているファームウェアバージョンについては、英語版 In-Sight Explorer オンラインヘルプのファームウェアバージョントピックをご参照ください。英語版 In-Sight Explorer オンラインヘルプのデフォルトロケーションは、C:\Program Files (x86)\Cognex\In-Sight\In-Sight Explorer 5.x.x\Documentation\Help\Help_ISE_EN.chm です。

In-Sight ファームウェア 5.6.0

- In-Sight 2000 シリーズビジョンセンサ
- In-Sight 5705 および 5705C ビジョンシステム

- In-Sight 7000 Gen2 シリーズビジョンシステム
- In-Sight Micro 8000 シリーズビジョンシステム

In-Sight ファームウェア 5.2.2

- In-Sight Advantage Engine

In-Sight ファームウェア 4.10.5

- In-Sight Micro 1000 シリーズビジョンシステム
- In-Sight 5000 シリーズビジョンシステム (In-Sight 5705 および 5705C ビジョンシステムを除く)
- In-Sight 7000 シリーズビジョンシステム (In-Sight 7000 Gen2 シリーズビジョンシステムを除く)

注: In-Sight ディスプレイコントロールは、In-Sight Micro 1020、In-Sight 2000 シリーズおよび In-Sight 7020、7010、7230、7430 および 7432 ではサポートされていません。

Microsoft .NET Framework 4.5

In-Sight ソフトウェアには、Microsoft .NET Framework 4.5 が必要です。システムに検出されない場合、自動的にインストールされません。

サポートしている開発環境

- Microsoft Visual Studio 2013
- Microsoft Visual Studio 2012

注: ActiveX は、Microsoft Visual Basic 6.0、Rockwell Automation FactoryTalk® View Site Edition (SE) および互換性のある ActiveX ホストアプリケーションでサポートされています。

インストール

In-Sight ディスプレイコントロールは、In-Sight ソフトウェアまたは In-Sight SDK のインストーラによってインストールされます。In-Sight ソフトウェアや In-Sight SDK をインストールするユーザには、フル管理者権限が必要です。

注: 異なるバージョンの In-Sight ディスプレイコントロールまたは In-Sight SDK で開発された COM/ActiveX アプリケーションは、このバージョンとは互換性がなく、正しく動作しません。カスタムアプリケーションをこのバージョンに合わせて再コンパイルするか、元のバージョンを再インストールしてください。(CR# 5084)

サンプルプロジェクト

In-Sight ディスプレイコントロール Sample Projects のフォルダロケーションは次の通りです。

- C:\Users\Public\Documents\Cognex\In-Sight\In-Sight Sample Projects 5.x.x

[スタート] メニューから、サンプルフォルダのショートカットにアクセスすることができます。

API の変更点

In-Sight ディスプレイコントロールの、このリリースでの API の機能拡張やその他の API に関する変更点についての完全な一覧は、In-Sight ディスプレイコントロールのヘルプファイルを参照してください。

既知の問題

注: Cognex テクニカルサポートを介して報告された既知の問題を追跡しやすくするために、該当する場合に Change Request 番号 (CR#) が付与されています。

CR#	問題
15264	<p>In-Sight ディスプレイコントロールアプリケーションを 64 ビットオペレーティングシステム上でビルドする場合、Platform Target を必ず x86 に設定してください。Platform Target を CPU や x64 に設定すると、FileNotFoundException または BadImageFormatException エラーが発生し、アプリケーションが強制終了してしまいます。</p> <p>回避策: Visual Studio でアプリケーションを x86 Target Platform に設定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Solution Explorer で、プロジェクトをライトクリックし、[Properties] を選択します。 2. [Build] タブを選択します。 3. [Platform target] ドロップダウンリストから、[x86] を選択します。 <p>注: C# および VB.NET プロジェクトについては、『Display Control API Reference ヘルプファイル』をご参照ください。</p>
5771	<p>複数バージョンの In-Sight ソフトウェアがインストールされていた状態から 1 つのバージョンをアンインストールすると、In-Sight ディスプレイコントロール (CvsInSightDisplay) を VB6、COM、または ActiveX 環境で使用する際に、以下のエラーメッセージが表示されることがあります。</p> <p>コンポーネント 'CvsInSightDisplay.ocx' またはその依存関係の一部が正しく登録されていません。ファイルが存在しないか、無効です。</p> <p>回避策: 問題を解消するには、Windows の [コントロールパネル] を開き、目的の In-Sight ソフトウェアインストールを選択し、修復します。</p> <p>注: お使いのシステムにおいて、単一バージョンの In-Sight ディスプレイのみを COM/ActiveX に登録することができます。つまり、複数のバージョンの In-Sight ディスプレイコントロールをインストールした場合には、常に最後にインストールしたバージョンになります。旧バージョンの In-Sight ディスプレイコントロールでコンパイルしたアプリケーションは、インストールしたバージョンで動作するように見えますが、インストールバージョンとの互換性は保証されません。</p>
5319	<p>Abs(B2)+PairDistance(C2,0,1) や PairDistance(C2,0,1)+Abs(B2) のように、PairDistance 関数をほかの数式と組み合わせると、そのプロパティシートを正しく開くことができません。</p> <p>回避策: PairDistance 関数を別のセルに移して、その関数を参照します。</p>
5230	<p>In-Sight ディスプレイコントロールの OPC タグを追加した場合、In-Sight OPC サーバの対応する OPC タグも、文字の大文字と小文字を正確に一致させる必要があります。2つの名前が正確に一致しない場合、OPCサーバで設定エラーが生じることがあります。</p>
5093	<p>カスタムの .NET 環境または ActiveX 環境の In-Sight ディスプレイコントロールで呼び出した [ファイルを開く]/[ファイルの保存] ダイアログ (CTRL+O など) は、In-Sight Explorer の [ファイルを開く]/[ファイルに名前を付けて保存] ダイアログとは動作が異なります。In-Sight Explorer では、[In-Sight センサ] のリストに、ローカルサブネット上および Explorer のホストテーブルのエントリにある全 In-Sight ビジョンシステムが表示されます。しかし、.NET 環境または ActiveX 環境の In-Sight ディスプレイコントロールでは、同じダイアログに、ローカルサブネット上、およびこのディスプレイコントロールで接続中のビジョンシステムに格納されている In-Sight のホストテーブルのエントリにある全ビジョンシステムのシステムが表示されます。</p>